



唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

佐野市町会長連合会総会を3年ぶりに開催しました！



令和4年5月26日（木）、佐野市文化会館にて佐野市町会長連合会総会を、検温や手指消毒、座席指定など感染症対策を徹底した上で開催しました。

コロナ禍により令和元年度の開催を最後に、連合会の総会は書面で行われてきたため、実に3年ぶりの開催となります。総会当日は、137名の町会長が出席し、久しぶりの顔合わせとなりました。

総会では、昨年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と予算並びに役員の改選について議案が提出され、全議案が承認されました。

コロナ禍における連合会のつぎ！！

佐野市町会長連合会会長

（浅沼町町会長）

上岡 良雄



新型コロナウイルス感染症は、世界中で猛威をふるい、社会・経済・日常生活に多大なる影響を及ぼしております。現在もその勢いは衰えることなく感染の広がりをみせております。一日も早い収束を願うものであります。

令和3年度、連合会では、市からの特別交付金を、広報紙配布作業時の手指消毒スプレーや各町会が独自に取り組んでおります感染症対策事業に補助金を交付するなど、新型コロナウイルス感染症対策事業として、活用させていただきました。感染症対策については、市からの多大なご支援により、安全確保が図られて

おります。その他の事業については、コロナの影響を受け、一部書面による対応とさせていただき、感染リスクが高い事業については、やむを得ず中止とさせていただきます。しかし、各町会における活動は、地域住民の住みよい環境作りをはじめ、地域福祉の推進、地域と行政とのパイプ役、町会長間の情報交換など、町会長の皆さまを中心に、また、皆さまのご協力により実施でき、本来の機能は、果たせたものと思っております。

なお、少子高齢社会の進展、人口減少などにより町会運営が困難になることが予想されます「限界集落」の問題については、「地域づくり検討部会」において協議を重ねているところであります。

本年度事業については、可能な限り計画に沿って実施したいと考えておりますが、依然として衰えない新型コロナウイルスの状況を判断しながら、執行していきたいと思っております。

結びに、町会運営の要は、地域住民を基本に捉え、直面する課題を地域住民共同の知恵で「支え合い・助け合い」により解決を目指すことであり、まさに、これが「自治組織の底力」であります。町会長の皆様には、コロナ禍、少子高齢社会の進展により難しい舵取りを強いられますが、健康に留意され、経験を通して培ったノウハウを礎として、ご活躍されますことをご祈念申し上げ、近況報告とさせていただきます。

連合会 新副会長紹介

令和4年度佐野市町
会長連合会総会にて役
員の改選が行われ、連
合会副会長に、会沢第
二町会長の大出治夫様
が就任されました。



連合会副会長

(会沢第二町会長)

大出 治夫

会沢第二町会長の大出ともうします。町会長2年目になります。今まで職場と家との往復だけで、あまり町会活動には関わらずにきました。このたび連合会副会長の大役を仰せ付け、あらためて数多くの委員会や協議会が活動されていることを知りました。微力ですがその活動の一員に参加させていただけることをうれしく思います。

飛駒地区土砂災害・防災訓練

開催した経緯

近年、台風や地震などにより全国各地で土砂災害が多く発生しています。本市においても大雨などにより、土砂災害発生危険性がある区域が多数あります。飛駒地区は山間部に位置しており、土砂災害警戒区域を抱えていることから、住民参加の実践的な訓練を通し、防災意識を高め、土砂災害発生時の被害軽減を図ることを目的としました。



避難訓練及び防災講習

6月26日(日)「飛駒地区土砂災害・防災訓練」が、旧飛駒小学校において開催されました。

当日は「大雨警報及び土砂災害警戒情報」が発表されたことから、警戒レベル3高齢者等避難及び警戒レベル4避難指示を発令するという想定で、訓練が行われました。情報伝達訓練から始まり、避難所の旧飛駒小学校体育館に住民が避難するなど、関係機関等合わせて約80人



がこの訓練に参加しました。

避難後は、市危機管理課による防災講話が行われ、土砂災害から身を守るポイントとして、「①ハザードマップで自分の家が土砂災害警戒区域内にあるか確認する。②土砂災害警戒情報や避難情報に注意する。③土砂災害警戒情報が発表、避難情報が発令されたら避難する。」ことが重要であるとの説明がありました。

講話後は避難所設営訓練、水消火器取り扱い訓練、AED講習を行い、参加者は熱心に取り組む、災害発生時の対応を学ぶことができました。



土砂災害・防災訓練を終えて

飛駒3区町会

町会長 提箸 昌和

今回の訓練はコロナ禍の影響を受け小規模で限られた人数での訓練でしたが、遠方から徒歩で避難される方がいるなど、関心をもって参加していただきました。参加者が訓練の様子を周囲に伝えることで、地域の皆で防災について考えるきっかけになればと思います。また、今回は防災無線を利用しての情報伝達など、より実践的な訓練ができればと思います。

令和4年度 全市二斉清掃が 実施されました

5月29日(日)、
全市一斉清掃が
実施され、早朝
から多くの住民
の方々が清掃に
励まれました。



今年、堀米町(朱雀)町会の様子をご紹介します。

堀米町(朱雀)町会

町会長 永瀬 真一

今回の一斉清掃では、町民の方に自宅近辺の清掃をしていただき、また町会理事27名で、公園2カ所と秋山川に架かる朱雀大橋近辺の道路の清掃を実施しました。公園清掃は定期的に実施していますが、公園をきれいにするだけでなく、理事同士のコミュニケーションを深める良い機会になりました。



市政懇談会開催される

佐野市全域20地区を対象に、7月から8月にかけて、全5回、市政懇談会が開催され、多くの町会長にご参加いただきました。



この懇談会は、市民と行政の協働によるまちづくり、人と人が支え合う地域づくりを進めるため、市民と市長との対話による意見交換の場として、広く市民から意見、提案、要望等を聴き、寄せられた意見などを市政運営に反映させることを目的としています。



懇談会では、市長から市政に関する説明が行われ、その後の意見交換では、各町会で困っていることを町会長が報告し、それに対する今後の対応について市長をはじめ執行部が説明を行いました。また市政に対する要望や質問、時代の変化に伴う市の考えについても活発な意見が出されました。

三好・野上・新合地区
地域おこしワークショップ三好・野上
・新合地区

市のはたらきかけで、三好生活改善センター、野上基幹集落センター、新合総合センターの3カ所地域おこしワークショップが開催されました。ワークショップとは、年齢、性別問わず誰でも参加できる新しい会議の手法で、一定数の参加者だけが発言を行い、ちなみ従来の会議とは異なり、参加者全員が必ず発言し、それを全員が聞いて意見をまとめる上げ、共有をする手法です。

この手法を地域おこしに取り入れ、活発に活動している地域もあります。このワークショップには、当日多くの方が参加し、一人一人が自分が住んでいる地域について考え、多くの意見を発表し、その内容を全員で分かち合うことができました。地域の将来のために何をしたいのか考えていく上で、今回のワークショップは、その足掛かりになっていくのではないかと思います。



令和3年度の事業報告

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で次の事業が中止になりました。

●新春祝賀会・表彰 ●全市一斉清掃 ●視察研修 ●町会長研修会

◆町会課題の解決

「地域づくり検討部会」において、町会課題の調整研究及び解決策の検討を行っています。現在は、町会の統合・再編について議論を進めています。



※地域担当職員とは、市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、地域に配置された市職員をいいます。

町会長連合会
令和4年度の主な事業

◆会報の作成

市民の皆さんに、町会に関する情報をお知らせするため、「会報編集部会」で会報誌を作成し、年2回発行いたします。

◆行政と町会について

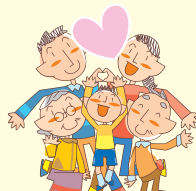
行政と町会との協働体制がとれるように、各行政機関及び地域担当職員※と共に課題に取り組んでまいります。

◆その他

- 全市一斉清掃
- 町会長・町会役員を対象とした講演会
- 永年表彰
- 福祉、教育、文化団体の会議などへの参画
- 栃木県自治会連合会事業への参画等
- 市が主催する各種事業への参画

町会に加入しましょう！

町会は住民の皆さんと共に災害時の対応、隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っています。町会活動に対してご理解をいただき、積極的に参加してください。



●安全・安心な暮らしを守る活動

自主防犯パトロール、自主防災組織、防犯灯の維持管理、交通安全活動など

●親睦活動

お祭りの開催や、子ども会、シニアクラブへの協力など

●地域環境美化活動

清掃活動、ごみ集積所の維持管理など

●地域情報活動

回覧板や広報紙の配布による地域の情報伝達など

●地域福祉活動

子どもや高齢者の見守り活動など

いちご一会とちぎ国体
第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

佐野市開催競技の 基本ルールをおさらい!

いちご一会とちぎ大会
第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

国民体育大会

●ラグビーフットボール(全種別)●

令和4年10月2日(日)～6日(木)

会場：清酒開華スタジアム(佐野市運動公園陸上競技場)ほか

- *楕円型のボールを奪い合い、相手側のインゴールにボールを持ち込み接地させる「トライ」やH型のゴールポスト間の上部にボールを蹴り入れ、得点を競う競技
- *ボールを持って走る、蹴る、投げる(パス)が認められ、パスは後方へのみ可能
- *トライ：5点 トライ後のゴール：2点 ペナルティゴールとドロップゴール：3点
- *試合は原則前半と後半の合計点数が高い方が勝ち



清酒開華スタジアム

●バレーボール(成年男子)●

令和4年10月7日(金)～10日(月・祝)

会場：DAIKYO アリーナ佐野(佐野市アリーナためめ)

- *1チーム6人構成の2つのチームがコート中央のネットを挟んで、ノーバウンドのボールを3回以内の触球で相手コートへ返球、ラリーに勝って得られる得点を競う競技
- *チームは守備専門の選手であるリベロを2人まで指名でき、バックポジションのどの選手とも入れ替わることが可能
- *試合は原則1セット 25 点のラリーポイント制で5セットマッチ、3セット先取のチームが勝ち



DAIKYO アリーナ佐野

全国障害者スポーツ大会

●バレーボール(精神障害の部)●

令和4年10月29日(土)～30日(日)

会場：DAIKYO アリーナ佐野(佐野市アリーナためめ)

- *男女混合で試合(常に女性選手1名の出場が必要)、ソフトバレーボール球を使用
- *試合は原則1セット 25 点のラリーポイント制で3セットマッチ、2セット先取のチームが勝ち



© 2011 sanocity sanomaru

*いずれの競技も、試合状況によっては例外的にルールが異なることがあります。

佐野市町会長連合会 新型コロナウイルス 感染症対策事業

町会長連合会では昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策事業を実施しております。

手指消毒用スプレートの配布

今年度も連合会から全町会に手指消毒用スプレートを配布しました。



今年度配布したスプレー本数は計5197本。町会での広報紙の配布作業などにご利用いただいております。

町会新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金

昨年度に引き続き、町会で購入した新型コロナウイルス対策物資に対し、補助金の交付を行います。

昨年度も多数の申請をいただき、多くの町会でご利用いただいております。

編集後記

◆今年は梅雨明けが早く猛暑の盛夏が続く、例年になく熱中症が心配されております。

◆本会は、3年ぶりに佐野市文化会館にて総会を開催しました。昨年は各種行事の中止が相次ぎましたが、現在はワクチン接種も順調に進み、コロナ禍でも日常生活が戻りつつあります。感染防止対策を考慮した生活を心掛けましょう。

◆167町会の中、新しく54名の町会長様が就任されました。今後のご活躍を祈念します。

◆今年度も連合会で感染症対策事業が継続実施されますので補助金の有効活用をお願いします。

◆「いちご一会とちぎ国体」10月から各種競技が開催されますので皆様方のご声援をお願いします。

◆「地域社会活動のご寄稿」町会運営の参考にしたいと思っております。

◆今後も皆様の町会の活動状況や意見・感想を事務局へご連絡いただければ幸いです。(齋藤記)

発行者 佐野市町会長連合会

〒307-8601 栃木県佐野市高砂町1番地

佐野市役所 6階

02833-203812

発行責任者 上岡 良雄

編集部長 齋藤 義男

編集部会長 白澤 武久

久村 純二

三村 和夫

須藤日出夫

塚田 芳夫

アドバイザー

佐野市町会長連合会は市内全域167町会で組織されています。